

## 安全データシート(SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会社	<b>ホーザン株式会社</b>
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
製品番号	VP-1C / VP-1BOX	
製品名	パッチキット / パッチキットディスプレイボックス	
推奨用途及び使用上の制限	自転車のパンク修理	

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性	： 皮膚腐食性／刺激性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
	誤えん有害性	区分1
	引火性液体	区分2

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	： 
-----------	---

注意喚起語	： 危険
危険有害性情報	： 引火性の高い液体及び蒸気 皮膚刺激 眠気又はめまいのおそれ 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

## 注意書き

安全対策	： 取扱い後は顔、手、ばく露した皮膚をよく洗う。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避ける。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざける。禁煙。 容器を密閉する。 静電気対策のため、装置等は接地しアースをとる。 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用する。 火花を発生させない工具を使用する。 静電気放電に対する予防措置を講ずる。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 涼しいところに置く。
------	---

- 応急措置
- ：皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診察／手当てを受ける。
  - 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐ。  
皮膚を流水又はシャワーで洗う。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をする。
  - 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
気分が悪いときは、医師に連絡する。
  - 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡する。  
無理に吐かせない。
  - 火災の場合 : 泡消火剤、耐アルコール性泡消火剤、ガス、消火剤、  
二酸化炭素、粉末消火剤、ABC消化器を使用する。
- 保管
- ：施錠して保管する。  
換気の良い場所で保管する。  
容器を密閉しておく。
- 廃棄
- ：内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。
- その他の情報
- ：皮膚に付着すると有害のおそれ  
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分 :

化学名又は一般名	CAS No.	含有量濃度 (質量%)	官報公示整理番号	化学物質 管理促進法 (PRTR法)	労働安全 衛生法	毒劇法
軽質脂肪族系石油溶剤 ナフサ	64742-89-8	60-100	—	対象外	該当 168	対象外
n-ヘプタン	142-82-5	10-30	(2)-7	第一種 731	該当 526	対象外
オクタン	111-65-9	7-13	(2)-8	第二種 761	該当 115	対象外

### 4. 応急措置

- 吸入した場合
- ：空気の新鮮な場所に移す。  
肺に吸入されると、重度の肺損傷を起こすおそれ  
呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。  
直ちに医師の診察／手当てを受ける。  
呼吸が困難な場合は(訓練を受けた者が)酸素吸入を行う。  
直ちに医師の診察／手当てを受ける。  
遅発性の肺水腫を起こすおそれ
- 眼に入った場合
- ：直ちに多量の水で、まぶたのすみずみまで15分以上洗い流す。  
洗眼の際は、眼を大きく開く。  
患部をこすらない。
- 皮膚に付着した場合
- ：直ちに多量の水と石けんで洗い流し、汚染された衣類や靴を全て脱ぐ。  
皮膚刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受ける。

- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。  
口をすすぐ。  
意識がない場合は、口から何も与えない。  
飲み込んで肺に吸入されると、肺損傷を起こすおそれ  
嘔吐が自然に発生した場合は、誤えん防止のため頭を腰より下に保つ。  
直ちに医師の診察／手当てを受ける。
- 応急措置をする者の保護 : 全ての着火源を取り除く。  
必要に応じて個人用保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。  
眼、皮膚、衣類につけない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

- : 呼吸困難  
咳や喘鳴  
めまい  
高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐などの症状を起こすおそれがある。

医師に対する特別な注意事項

- : 誤えんの危険があるため、追加の毒性物質の存在によってリスクが正当化されない限り、催吐又は胃洗浄を行わない。

---

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、泡、ガス消火剤、粉末消火剤、ABC消火器
- 使ってはならない消火剤 : 水噴霧、ウォータージェット
- 特有の危険有害性 : 火災時に有毒ガスを発生するおそれがある。  
発火の危険性がある。  
製品及び空容器を熱や着火源から遠ざける。  
火災が発生した場合は、水噴霧でタンクを冷却する。  
火災の残留物及び汚染された消火用水は、関連法規制に従って廃棄する。  
燃焼の際に一酸化炭素、二酸化炭素を生成する。  
静電気放電に敏感である。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は必ず空気呼吸器、防護服を着用する。  
個人用保護具を使用する。
-

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ： 関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 必要に応じて個人用保護具を着用する。
- 眼、皮膚、衣類につけない。
- 十分に換気する。
- 漏洩物から退避させ、風上に留まる。
- 全ての着火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
- フラッシュバックに注意する。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
- 全ての装置等は接地し確実にアースをとる。
- 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する注意事項 : データなし

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ： 危険でなければ漏れを止める。
- 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- 蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。
- 漏出場所から離れたところに堤防を設ける。
- 排水溝、下水道、水路等への流出を防ぐ。
- 土、砂又は他の不燃性物質で吸収し、容器に回収する。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
- ウエス等に吸着させ回収し、その後を完全にウエス等でふき取る。
- 密閉できる空容器に回収する。
- 火花を発生させない工具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 安全取扱い注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
- 適切な個人用保護具を着用する。
  - 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避ける。
  - 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざける。禁煙。
  - 移送する場合は静電気放電、火災、爆発を防ぐため、接地しアースをとる。
  - 局所排気装置を使用する。
  - 火花を発生させない工具及び防爆装置を使用する。
  - 眼、皮膚、衣類につけない。
  - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
  - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。
  - 換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。

## 保管

- 保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した涼しいところに置く。  
換気の良い場所で保管する。  
熱、火花、炎及び他の着火源(パイロットランプ、電気モーター、静電気など)から遠ざける。  
可燃物の近くに保管しない。  
関係法令の定めるところに従う。  
施錠して保管する。  
子どもの手の届かないところに置く。  
酸化剤から離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 :

化学名又は一般名	許容濃度	
	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
n-ヘプタン CASNo.142-82-5	200ppm 820mg/m <sup>3</sup>	STEL:500ppm TWA:400ppm
オクタン CASNo.111-65-9	300ppm 1400mg/m <sup>3</sup>	TWA:300ppm

- 設備対策 : 作業場には眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。  
排気／換気設備を設置する。

## 保護具

眼及び／又は顔面の保護具

- : 保護眼鏡を着用する。

手の保護具

- : 不浸透性の手袋を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- : 長袖の保護衣、耐薬品性エプロン、帯電防止靴等を着用する。

呼吸用保護具

- : 通常の使用条件下では不要。

ばく露限界を超えたり、刺激があったりした場合は、換気と避難が必要になることがある。

環境へのばく露防止

- : 環境への放出を避ける。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

適切な衛生対策

- : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。

汚染された作業衣は作業場から出さない。

装置、作業場、衣類を定期的に清掃する。

休憩前及び取扱い後はよく手を洗う。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	: 液体
色	: 琥珀色
臭い	: 溶剤のような臭い
臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 90℃
引火点	: -9℃
蒸発速度	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
水に対する溶解度	: 不溶
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
爆発性	: データなし
酸化特性	: データなし
軟化点	: データなし
分子量	: データなし
VOC含有量	: データなし
液体密度	: データなし
かさ密度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の手扱いはなし
化学的安定性	: 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	: 引火点以上に加熱された場合、空気中で爆発性混合物が生じる可能性がある。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花、酸化剤
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 熱分解により刺激性のガスや蒸気、一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

## ばく露の経路に関する情報(製品)

- 吸入した場合 : 肺に吸入されると、重度の肺損傷を起こすおそれ  
肺水腫を起こすおそれ  
肺水腫は生命に危険である。  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
吸入すると有害のおそれ
- 眼に入った場合 : 眼刺激のおそれ
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激(成分に基づく情報)  
繰り返しばく露すると、皮膚の乾燥やひび割れを起こすおそれ
- 飲み込んだ場合 : 飲み込むと誤えんのおそれ  
飲み込むと肺損傷を起こすおそれ  
誤えんすると肺水腫や肺炎を起こすおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢のおそれ
- 毒性の数値測定 : ATEmix(経皮) : >2000mg/kg  
: 経口(ラット) LD50 : >5000mg/kg  
: 吸入(ラット) LC50 : 103mg/L

## 急性毒性(成分)

化学名又は一般名	経皮(ウサギ) LD50	吸入(ラット) LC50
軽質脂肪族系石油溶剤ナフサ	=3000mg/kg	—
n-ヘプタン	=3000mg/kg	>73.5mg/L 4時間
オクタン	—	>24.88mg/L 4時間

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

: データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 区分3

眠気又はめまいのおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: データなし

誤えん有害性 : 区分1

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

## 12. 環境影響情報

生態毒性 : 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚	甲殻類
軽質脂肪族系石油溶剤ナフサ CASNo.64742-89-8	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: =4700mg/L 72時間	—	—
n-ヘプタン CASNo.142-82-5	—	シクリッド LC50: =375.0mg/L 96時間	—
オクタン CASNo.111-65-9	—	—	ミジンコ EC50: =0.38mg/L 48時間

残留性・分解性 : 部分的に生分解性がある。  
 生体蓄積性 : 生体蓄積性はないと考えられる。  
 土壌中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : データなし  
 その他の悪影響 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 下水道、地面、水域に流入させない。  
 環境へ放出してはならない。  
 関連法規制並びに地方自治体等の基準に従う。  
 汚染容器 : 空の容器は火災や爆発の危険をもたらす。  
 容器を切断したり、穴を開けたり、溶接したりしないこと。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

UN/ID No. : UN1133  
 Proper shipping name : ADHESIVES  
 Transport hazard class(es) : 3  
 Packing group : II  
 Marine Pollutant : n-ヘプタン、オクタン

## 国内規制

陸上輸送 : 消防法の規定に従う。  
 海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。  
 航空輸送 : 航空法の規定に従う。

---

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)  
名称等を通知すべき危険物有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)  
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)  
軽質脂肪族系石油溶剤ナフサ 政令番号:168  
n-ヘプタン 政令番号:526  
オクタン 政令番号:115

### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

- : 第1種指定化学物質  
n-ヘプタン 政令番号:731  
第2種指定化学物質  
オクタン 政令番号:761

消防法 : 第四類 引火性液体 第一石油類

船舶安全法 : 引火性液体類

航空法 : 引火性液体

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。  
詳しくは各法令をご確認ください。

---

## 16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。

---